

成功へのキセキ 南の国の「ナンデシ」税理士

第6回 ゴーンガールとパーフェクトな女たち

『ゴーンガール』という映画を観ました。この映画は、サイコサスペンスという紹介の仕方をされていますが、これは男性目線の解釈。女性の私に言わせると、『ゴーンガール』は、「完ぺきな女になれなかった女の少々過激なレジスタンス」です。

ご覧になっていない人のために簡単にあらすじを説明しておきましょう(ネタバレ、すみません)。主人公のエイミーは、セレブで、美人でおまけにハーバード大卒。両親が書いた大ベストセラー小説「完ぺきなエイミー Amazing Amy」の主人公でもあります。

けれど現実のエイミーの結婚生活は、物語のエイミーのように完ぺきにはいきません。夫は無教養で、仕事もせず、若い愛人をつくります。それでも親の期待・世間の期待・夫の期待に応えようとエイミーは完ぺきな妻を演じ続けるべく努力します。しかしある日、夫と愛人のキスシーンを目撃してしまったエイミーは、理想と現実のギャップに耐えきれず、ついに突拍子もない行動を起こします…。

『ゴーンガール』の本質は、「イケてる女」を演じなければならない主人公の、反逆の物語なのです。

と言ったら、夫(=世のオトコ)から鼻で笑われました。これは頭のイカれたオンナの胸くそ悪いホラー映画だよと。

でも、私にはエイミーの気持ちが分かります。

私は3歳からずっとピアノを習っていました。単に習っていたというレベルではなく、地方都市とはいえトップレベルの先生3人に師事し、毎日毎日、8時間の練習に明け暮れていました。コンクールにも出だし、市民ホールでのコンサートではソリストもつとめました。突き指をしては

いけないという理由で、バレーボールなどの運動も制限されたほどです。

自分でいうのも気が引けますが、ピアノだけでなく勉強もできるコドモでした。小学校ではクラス委員をつとめていたし、高校は地元で有名な進学校に進み、大学はストレートで国立大学に入学しました。

卒業後は結婚して子供を育てながら、会計事務所をスタートし、今ではスタッフが30名、ミャンマーに会計サービスの会社も設立しました。

決して、自慢話をしているわけではありません。要するに、私はコドモのころから、ずっと、ずっと優等生だったのです。

親が喜ぶ「よい子」でいなければならない。

先生が期待する「真面目な生徒」でいなければならない。

夫が望む「優しい妻」でいたい。

コドモのために「完ぺきな母親」でいたい。

夫の親族から「褒められる嫁」でいたい。

クライアントから「信頼される税理士」でいたい。

スタッフからも「尊敬される経営者」でいたい。

読者の期待に応える「良い本」を書きたい。

あれもしたい、これもしたい、すべてをパーフェクトに…。

けれど、何事も完ぺきにこなしたいという「気持ち」に、ある時、「体」が反抗しました。顎関節症になり、痛くて、夜も眠れなくなったのです。2時間ほど丁寧に検査してくれた歯科医の先生(←素晴らしい名医でした！)の診断は、ストレス。「機能的な問題は何もありませんよ。あなたはストレス発散が下手ですね」と言われました。

できないことはできなくていい。

◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」を全国1位の成績で、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性だけのスタッフ30名、一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に「小さな会社のための総務・経理の仕事がわかる本」「小さな起業のファイナンス」(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」のつくり方(日本実業出版社)』『トコトンわかる株式会社のつくり方(新星出版社)』『『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『『一生食っていくための土業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

自分を責めなくてもいい。
完ぺきでなくてもいいんです。

歯科医の先生(心療内科ではありません！)の言葉を聞きながら、私の心は治療台の上で叫んでいました。「そうよ。私はスーパー・ウーマンじゃないわ」。

先生の処方箋は、毎朝ベランダで体操をすること。たったそれだけ。痛み止めも鎮痛剤も処方されませんでした。2週間、半信半疑で言われたとおりの体操をただで、あんなにつらかった痛みが消えてなくなったのです。

資格をとって働こうと考えている読者の皆さんは、優等生タイプが多いのではないのでしょうか。でも一人であれもこれも、と抱え込む必要はないのです。ドロッカーがいう「選択と集中」は、働く女性にこそ必要な戦略です。

できることにフォーカスする。できないことは、思い切ってあきらめる。できないことをクヨクヨしない。できないことで自分を責めない。

子育てについて言えば、私は1日に1つだけコドモを最優先する時間をとりました。他のママのように、あれもこれもはできない。でも、1個ぐらいなら、確定申告でどんなに忙しくても、続けられます。そして後の99個は、あきらめる。

たとえば小学校4年生までは、毎晩コドモが寝るまでの5分間、素話(すばなし)を話してきかせました。素話とは、絵本の読みきかせとは違います。自分でお話の内容を全部覚えて、台詞なども抑揚をつけて話してきかせること。絵本を読むよりずっと、コドモの想像力が膨らむという効果があります。1日たったの5分。毎日続けるのは、結構大変です。でも決めたことはやる。他の人ができて、自分にできないことをクヨクヨしない。他人と比べても仕方がないのです。コドモはこの素話が好きで、同じ話を、何度もせがま

れました。

私の経験からすると、ヒトは3つまでなら、平行して物事に集中できるような気がします。私は、日々の生活の中で3つの優先順位を決めていました。以前にも書きましたが、1番はコドモ。2番は会計事務所。そして3番目はその時の状況で、変わります。夫のときもあるし、税理士会の活動だったり、実家だったり、PTA活動だったり。

そして大切なことは、一度優先順位を決めたら、絶対に迷わないことです。1ミリも一瞬たりとも迷わないこと。それが、働く女性が幸せになれる秘訣ではないかと思います。

優先順位を決めるには、自分のミッションを明確にしておくことです。ミッションなんて大げさに考える必要はありません。個人的なことから、社会貢献まで、思いつくままに書き出してみてください。毎日の食事をちゃんとつくるとか、コドモを私立中学に入れるとか、被災地でボランティア活動するとか、耳の聞こえない人の手話通訳をするとか、女性の自立支援をするとか、何でもかまいません。

すると、自分が生きている意味や、世の中で成し遂げたいことが見えてきます。自分にとって大切なものは何か、失いたくないものは何か、苦しくても頑張れるエネルギーの源泉は、どこにあるのか、それがわかったら、やるべき事の優先順位がはっきりと見えてきます。

かくいう私も、目先の誘惑にかられて、何度もコドモを傷つけたり、お客さまを怒らせたりしています。でも、失敗するたびに初心にかえって、自分のミッションを問いかけるのです。

私のミッションは何かって？
「私のせいで家族が不幸にならないこと(笑)」
「真面目に働く中小企業が、知らないというだけで損をしない社会をつくること」
それが、私の変わらぬ使命です。

好評発売中

知識ゼロでもひとりできる！フリーランスのためのはじめての青色申告

宮崎 綾子 著 原 尚美 監修(日本実業出版社) 1,400円+税

シロウトが書いたシロウトの気持ちがわかる確定申告本。今年から白色申告の人も記帳しなければなりません。どうせ帳簿をつけるなら節税メリットの大きな青色申告がオススメ。というわけで税金のプロである税理士 原尚美監修のもと、シロウトでも出来る青色申告のノウハウをやさしく解説しています。

知識ゼロでもひとりできる！フリーランスのための青色申告「そこが知りたい！」をやさしく解説！

改訂版発売中

世界一ラクにできる確定申告

～全自動会計ソフト「freee」で手間なく完結！～平成27年版

原 尚美 著(技術評論社) 1,580円+税

仕訳不要。勘定科目は覚えなくてもOK。領収書は整理しなくてもOK。経費にできるか悩まなくてもOK。世界一ズボラな税理士と、新しめの好きなWebコンサルが書いた、とにかくメンドくさい事は、全部しなくてもすむ究極の確定申告本です。

世界一ラクにできる確定申告めんどくさいこと全部不要！